

台湾産蜻蛉類採集記録

朝比奈 正二郎

東京都新宿区戸塚町3-123

Notes on a small collection of the Odonata of Taiwan

By SYOZIRO ASAHINA

台湾産の蜻蛉類は, Ris, 小熊, 中条, 朝比奈, 陳等によって記録されているが未だとり纏められたものはない。筆者の手許には1936年に筆者自身で採集した約80種のほかに, 多くの同好者の好意で集めることの出来た総計100種以上にのぼる資料があり, その後外国の博物館に蔵された若干の標本も見ることが出来たので近い将来に全部をまとめたいと考えている。

ここには1961年, 日本鱗翅学会の会員諸氏によって採集された30種を, 同学会の御依頼に従って記録しておくと思う。冒頭に当って, 現地で採集に努力された同学会員諸兄, 特に白水 隆氏の御配慮に対して深く感謝の意を表す。

採集者略称 O: 緒方正美 H: 春木実 M: 六浦 晃 S: 白水 隆 W: 若林守男

I. AGRIONIDAE イトトンボ科

1. *Agriocnemis femina oryzae* LIEFTINCK コフキヒメイトトンボ
1 ♀ 礁溪, 5. VII(S).

2. *Aciagrion hisopa* SELYS ホソミイトトンボ
1 ♂ リモガン~マガン, 10. VII(S).

未熟な個体で一応上記に同定しておくが, 東亜の本属の種は根本的な再検討を必要とする。

3. *Ceriagrion fallax* RIS ニセキイトトンボ
1 ♂ ウライ~阿玉, 11. VII(S)

台湾からは筆者(1940)の記録で, 中部高地ムルロアフ, 松嶺, 合歓道路見晴より記録されていた。

4. *Ischnura senegalensis* (RAMBUR) アオモンイトトンボ
1 ♂ 台南公園, 29. VI, 2 ♂ 溪頭, 5. VII(O); 1 ♂ 1 ♀ 台南公園, 29. VI(S).

II. PLATYCNEMIDIDAE モノサシトンボ科

5. *Copera marginipes* (RAMBUR) タイワンモノサシトンボ
3 ♂ 1 ♀ 知本, 1. VII, 1 ♂ 花蓮港, 3. VII(S).

III. EUPHAEIDAE ミナミカワトンボ科

6. *Bayadera brevicauda* FRASER ヒメカワトンボ

1 ♀ ウライ~阿玉, 11. VII(S); 1 ♀ 溪頭, 27. VI, 1 ♀ ウライ~阿玉, 11. VII(O); 1 ♂ 烏来~阿玉, 8. VII(H).

7. *Euphaea formosa* SELYS ナカハグロトンボ

2 ♂ 本部溪, 25. VI, 1 ♂ ウライ~阿玉, 11. VII, 5 ♂ 2 ♀ ウライ~阿玉, 8. VII(S); 2 ♂ 南山溪, 24. VI, 1 ♀ 知本, 1. VII, 5 ♂ ウライ, 8. VII, ♂ 1 リモガン~マガン, 10. VII(O); 1 ♀ ナンダン, 24. VII(H), 1 ♂ 本部溪, 27. VI, 2 ♂ ウライ~阿玉, 8. VII(W); 4 ♂ 本部溪, 25. VI, 2 ♂ 礁溪, 5. VII, 3 ♂ 3 ♀ 烏来~阿玉, 8. VII, 2 ♂ リモガン, 10. VII(H).

南山溪の標本 1 ♂ は頗る大型 (後翅 33mm) であるが, チボン産の 1 ♀ は頗る小さい (後翅 28mm).

IV. CALOPTERYGIDAE カワトンボ科

8. *Matrona basilaris* SELYS subsp. タイワンハグロトンボ

1 ♂ 1 ♀ 南山溪, 24. VI, 1 ♀ リモガン〜マガン, 10. VII (O); 1 ♀ ウライ〜阿玉, 8. VII, 1 ♂ リモガン〜マガン, 10. VII (W); 1 ♂ リモガン〜マガン, 10. VII, 1 ♂ ウライ〜阿玉, 11. VII (S); 2 ♂ リモガン, 10. VII (H).

9. *Psolodesmus mandarinus mandarinus* MACLACHLAN シロオピカワトンボ

1 ♀ 鳥来〜阿玉, 8. VII (H); 1 ♂ 1 ♀ リモガン〜マガン, 10. VII (S); 2 ♂ リモガン〜マガン, 10. VII (W); 1 ♀ リモガン〜マガン, 10. VII (M); 1 ♂ リモガン〜マガン, 10. VII (O).

9a *Psolodesmus mandarinus dorothea* WILLIAMSON キヌバカワトンボ

1 ♂ 溪頭, 27. VI (O); 1 ♂ 竹山, 27. VI; 1 ♂ 溪頭, 28. VI (W); 2 ♀ 溪頭, 28. VI (H).

本種は WILLIAMSON によって独立種として記載され, 爾来日本の研究者も前種とは別のものとして扱って来たが, CHEN (1950) は前種の地方亜種 (台湾中部以南) と見ている. 往々両者の中間型が現れ, 上述のシロオピカワトンボの項中の溪頭産の個体にもその傾向の認められるものがある.

V. GOMPHIDAE サナエトンボ科

10. *Ictinus pertinax* SELYS タイワンウチワヤンマ

1 ♂ 台南, 29. VI (H); 1 ♂ 知本, 1. VII (S).

11. *Leptogomphus sauteri formosanus* OGUMA ホソサナエ

1 ♂ 南山溪, 24. VI, 1 ♂ ウライ, 8. VII, 1 ♂ リモガン〜マガン, 10. VII, 2 ♂ ウライ〜阿玉, 11. VII (O); 1 ♂ ウライ〜リモガン, 7. VII (W); 1 ♂ ウライ〜阿玉, 8. VII (S); 1 ♂ 鳥来〜阿玉, 8. VII, 2 ♂ リモガン, 10. VII (H).

台湾産の *Leptogomphus* (ホソサナエ属) は, *L. sauteri* RIS (1912) 及び *L. formosanus* OGUMA (1926) の 2 種記載され, 後者を前者のシノニムと見る考えが強く, CHAO (1954) もそのように扱っているが, 既に筆者も一寸ふれたように (1961), 手許の台湾内各地の標本と, 今般使われた標本とを検し, 次のように 2 亜種を認めることにする.

a. *Leptogomphus sauteri sauteri* RIS ザウターサナエ

Leptogomphus sauteri RIS, Suppl. Ent., 1, 75, 1912 "2 ♂ 1 ♀ Taihanroku, Formosa, VIII. 1908, leg. H. SAUTER; 11 ♂ 5 ♀ Tainan, Formosa, IV. 1910, durch Rolle, Berlin, Coll. RIS"

Leptogomphus sauteri RIS, Suppl. Ent., 5, 45, 1916 "1 ♀ Formosa (H. SAUTER); 1 ♂ Tainan, id.; 1 ♂ Sokotsu, Banshoryo Distr., Formosa, 1912, (id.)"

Leptogomphus sauteri LAIDLAW, Tr. Ent. Soc. London, 78, (2), 180, 1930

所検標本 (Coll. ASAHINA): 1 ♂ クラル, 21. VII. 1936, 1 ♂ クラル, 22. VII. 1936, 以上朝比奈採; 1 ♀ 「台湾」, 29. V. 1932, 平山採.

b. *Leptogomphus sauteri formosanus* OGUMA ホソサナエ

Leptogomphus formosanus OGUMA, Ins. Mats., 1, (2), 91, 1926 ♀ "Formosa (MATSUMURA); Only one female was collected by Prof. MATSUMURA in Formosa,"

Leptogomphus sauteri [?] NEEDHAM, Zool. Sinica, 11, 1, 46, 1930 "A single pair from Formosa"

Leptogomphus formosanus NEEDHAM, Zool. Sinica, 11, 1, 45, 1930 [ex OGUMA, 1926]

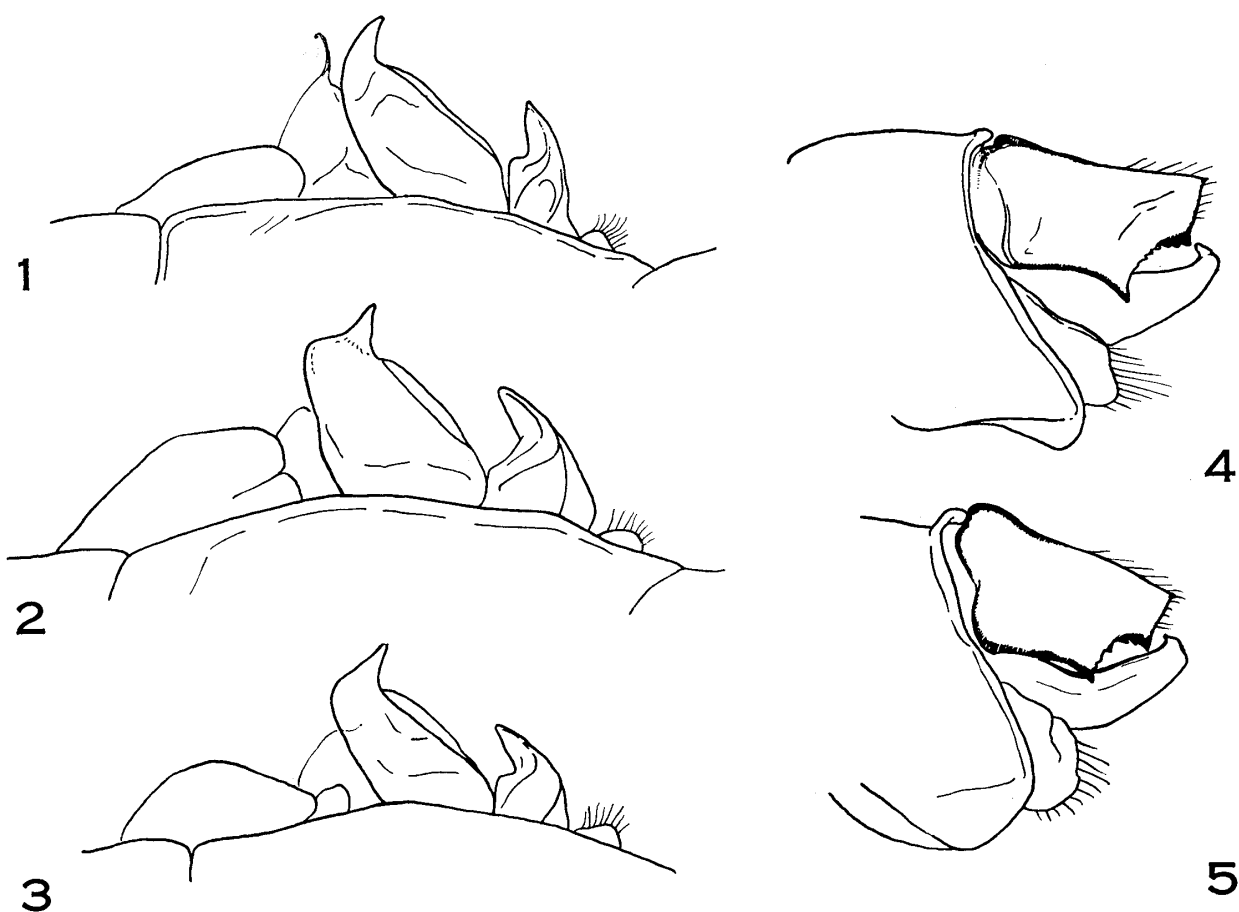
Leptogomphus sauteri CHAO, Acta Ent. Sinica, 4, (3), 251, 1954 "Taiwan" (Shinchiku, etc.) ♂ ♀

Leptogomphus sauteri subsp. ASAHINA, Ins. Mats., 24, (1), 60, 1961

所検標本 (今回得られたものは既に記した): Coll. ASAHINA—Series A 1 ♂ 牡丹社, 24. VII. 1936, 1 ♂ 牡

丹社, 25. VII. 1936, 1♂ チヨカクライ, 27. VII. 1936, 2♂ 追分 (知本道路), 30. VII. 1936, 2♀ 深山 (知本道路), 31. VII. 1936, 以上朝比奈採; 1♂ 牡丹, 13. V. 1927, leg. 鹿野忠雄採. **Series B** 1♂ 石壁坑 (台中州), 6. VII. 1931 中条道夫採, 1♂ 角板山, 31. VII. 1935, 増田朋来採, 1♂ 1♀ 草山, 7. VIII. 1936, 朝比奈採; 1♂ (juv.) 草山, 11. V. 1925, 鹿野忠雄採, 1♂ Nanjinzan, 7. IV. 1941, 大林一夫採.

Leptogomphus sauteri なる種は, 先ず Ris (1912) によってザウター採品の大板崎 (恒春半島の南端) 及び台南産の♂♀材料で詳しく記載された. 更にこれは1916年, ソコツ, パンシヨリヨウ (いずれも高雄州) にも分布することが記録された. これと関係なく1926年, 小熊博士は松村博士が「台湾」で採集された1♀標本に *formosanus* (ホソサナエ) と命名した. このものは産地の記載がないが, 後翅長38mmあって, 恐らく嘉義産の標本かと思われる (朝比奈, 1961, 後模式標本指定).



挿図説明 (Text-fig. 1—5)

1—3. Male accessory genitalia

1. *Leptogomphus sauteri sauteri* ザウターサナエ クラル産
2. *Leptogomphus sauteri formosanus* ホソサナエ 草山産
3. *Leptogomphus sauteri formosanus* (?) ボタン社産

4, 5. Male caudal appendages, lateral view

4. *L. sauteri sauteri* ザウターサナエ クラル産
5. *L. sauteri formosanus* ホソサナエ 草山産

1930年 LAIDLAW は東洋地方のサナエ科のリストを作った際に, *formosanus* を *sauteri* のシノニムとして(理由を記することなく) 列記した. 同年 NEEDHAM の支那の蜻蛉書には両者が別々に挙げられ, 台湾産の1対の標本を “*sauteri*” とし, “*formosanus*” については単に小熊の記載を引用した. NEEDHAM の作った keyには両種の差として襟黄条の特徴があげられているが, この区別点は全く誤りで意味をなさない. 最近に至って CHAO (1954) は新竹等の台湾産の標本を記載し, *formosanus* を *sauteri* のシノニムに扱った.

筆者は北大の蜻蛉のタイプ標本を検して (1961), *formosanus* の lectotype を指定したあと, 手許の標本において南部台湾産の *sauteri* に当たるものと, 北中部台湾産の *formosanus* に当たると思われる標本に若干の差を認めたが今回再びこの問題にふれることになったので, 下記のような形態上の差別から二つの地域的亜種として処置しておきたいと思う.

	<i>Sauteri sauteri</i>	<i>Sauteri formosanus</i>
後翅長	♂ 31—34, ♀ 29—37	♂ 35—37, ♀ 38—39
前肩条	♂ 細い, ♀ やや太い	♂ ♀ 欠除, 時に痕跡あり
上唇黄点	中央部に大型のもの1対	基方に小さいもの1対, 時に欠除
♂ 生殖後鉤	先端鉤状, 内側黄色	鳥の嘴状に屈折, 内側主として黒色
♂ 生殖前鉤	黄色	黒褐色

両亜種の差異は上表及び附図によって知られることと思うが, 要するに中・北部の山地に得られるものでは, 大型で体全体に亘ってそれぞれ黒色斑が拡大し, 特に♂の生殖後鉤が特異である.

然るに筆者の手許の標本では, ここでは *formosanus* として扱ったが, 中南部の山地帯から得られた(上記に Series A としたもの) では, 体の大きさ及び体斑が中間的であり, 又♂生殖後鉤も中間的な性質を示している. この事実から, 将来或いはいずれの性質も完全に連続して, 即ち一種の cline を認めねばならないようになる時があるかも知れない.

12. *Gomphus* sp. タイワンヤマサナエ (仮称)

1♂ 南山溪, 24. VI (O).

台湾に産するヤマサナエ群の種類については, まだ材料が頗る不足で決定的なことは記し難いが, 本標本は対岸支那福建省に産する或る1種に最も近い.

VI. CORDULEGASTERIDAE オニヤンマ科

13. *Anotogaster sieboldii* SELYS オニヤンマ

1♂ リモガン〜マガン, 10. VII (O).

東亜における本種の地域的変異については今後別にふれるつもりである.

VII. LIBELLULIDAE トンボ科

14. *Orthetrum sabina* (DRURY) ハラボソトンボ

1♂ リモガン, 10. VII(H); 2♂1♀ 礁溪, 5. VII(S); 1♀ ナンダン, 24. VI(M).

15. *Orthetrum glaucum* (BRAUER) タイワンシオカラトンボ

1♂1♀ 南山溪, 24. VI, 2♂1♀ 天祥, 3. VII(O); 6♂ 天祥, 3. VII(S); 1♂ リモガン, 10. VII(H).

16. *Orthetrum luzonicum* (BRAUER) ホソミシオカラトンボ

1♂ リモガン〜マガン, 10. VII(S).

17. *Orthetrum pruinosum neglectum* (RAMBUR) コフキシヨウジョウトンボ

1♂ 本部溪, 25. VI, 4♂1♀ 知本, 1. VII, 4♂ 天祥, 3. VII(S); 2♂ 本部溪 25. VI, 2♂1♀ リモガン, 10. VII(H); 1♂ 日月潭, 22. VI(W); 1♂ 日月潭, 26. VI(M); 1♀ 台南糖業試, 29. VI, 1♂ リモガン〜マガン

ン, 10. VII(O).

18. *Orthetrum triangulare* subsp. オオシオカラトンボ

1♂ ウライ, 8. VII, 1♂ リモガン—マガン, 10. VII(O); 1♂ 本部溪, 25. VI, 1♂ 天祥, 3. VII; 1♂ ウライ—阿玉, 8. VII(S); 1♂ 烏来—阿玉, 8. VII, 1♂ リモガン, 10. VII, 1♀ 烏来—阿玉, 11. VII(H).

台湾中部産の本種は所謂 *triangulare* 型と *melania* との 混合があって, その処置は今後東亜における本種を整理する際にゆずりたい。

19. *Neurothemis palliata* (RAMBUR) アカスジベッコウトンボ

5♂ 知本, 2. VII(H); 9♂5♀ 知本, 1. VII(S); 1♂2♀ 知本, 1. VII(W); 2♂ 知本, 1. VII(M); 4♂ 知本, 1. VII(O).

20. *Brachythemis contaminata* (FABRICIUS) ベニヒメトンボ

1♂1♀ 台南公園, 29. VI(O); 1♂ 台南公園, 29. VI(W); 4♂ 台南公園, 9. VI(S); 2♂2♀ 台南, 29. VI(H).

21. *Crocothemis servilia* (DRURY) ショウジョウトンボ

3♂ リモガン, 10. VII(H).

22. *Sympetrum baccha baccha* MACLACHLAN オオアカネ

1♂ 9. VII(M).

23. *Trithemis aurora* (BURMEISTER) ベニトンボ

1♂ 知本, 1. VII(M); 1♀ 溪頭竹山演習林, 28. VI, 1♂ 知本, 1. VII(W); 1♀ 溪頭, 27. VI, 2♂ 知本, 1. VII(S); 2♂ 知本, 1. VII(H).

24. *Trithemis festiva* (FABRICIUS) セボシトンボ

2♂ 天祥, 3. VII(S); 1♂ 天祥, 3. VII(O).

25. *Pseudothemis zonata* (BURMEISTER) コシアキトンボ

1♀ タツタカ, 24. VI(W).

台湾産の本種は日本内地産のものに比し, 後翅基部の黒斑が縮小している。

26. *Zyxomma petiolatum* RAMBUR オオメトンボ

1♂ 礁溪, 5. VII(M).

27. *Tholymis tillarga* (FABRICIUS) アメイロトンボ

3♂ 台南, 29. VI(H).

28. *Rhyothemis variegata arria* (DRURY) タイワンチョウトンボ

1♀ 羅東, 4. VII(H); 1♀ 羅東, 4. VII(W).

29. *Tramea virginia* (RAMBUR) ハネビロトンボ

1♀ 烏来—阿玉, 8. VII(H).

30. *Pantala flavescens* (FABRICIUS) ウスバキトンボ

1♀ 礁溪, 5. VII(W); 1♀ 日月潭, 26. VI, 1♀ リモガン—マガン, 10. VII(S); 1♀ 烏来—リモガン, 9. VII(H).

Summary

Thirty species of the Odonata were taken by the members of the Lepidopterological Society of Japan during their 1961 collecting trip in Taiwan. In this report special attention was paid to a *Leptogomphus* species which appears to have two geographical races in Taiwan. The distinguishing points of them are :

	<i>L. sauteri sauteri</i>	<i>L. sauteri formosanus</i>
Hindwing length (mm)	♂ 31—34 ♀ 29—37	♂ 35—37 ♀ 38—39
Antehumeral yellow stripe	narrow	vestigial or absent
Paired yellow spots on labrum	large and distinct	small and situated proximally, sometimes absent
♂ apex of hamuli posteriores	sharply pointed as a hook	refracted anteriorly
♂ hamuli anteriores	mostly yellow	mostly black
Distribution	South Taiwan	Central and North Taiwan